

ADVANTEST®

2018年度（2019年3月期） 第3四半期決算説明会

2019年1月30日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の見通しに関する記述について

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれていません。
- これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...
operation == "MIRROR_X":
mirror_mod.use_x = True
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Y":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = True
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Z":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = True

...selection at the end -add ...
..._ob.select= 1
..._ob.select=1
...context.scene.objects.active
...["Selected" + str(modifier
...mirror_ob.select = 0
..._ob.context.selected ob
...print("please select ...
...classes
```

2018年度第3四半期決算報告

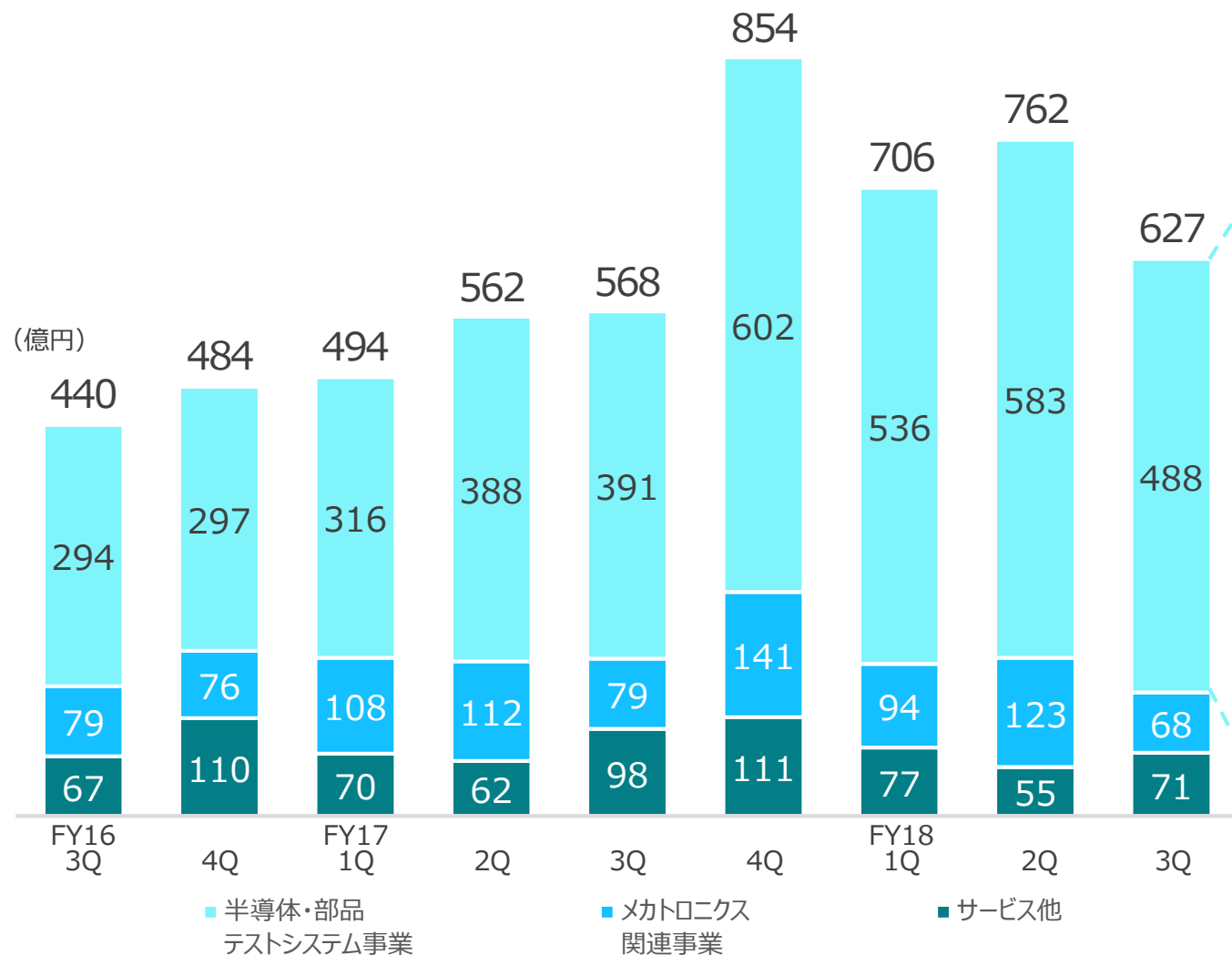
常務執行役員 藤田 敦司

四半期業績推移

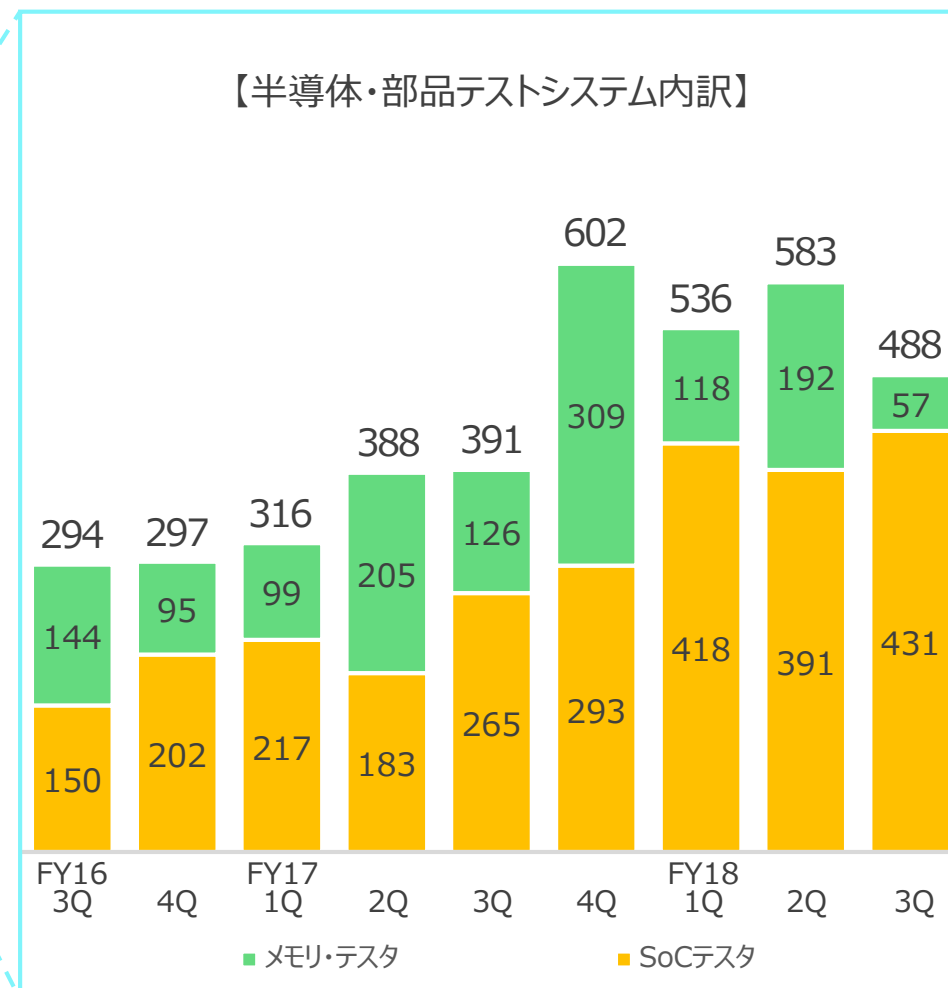
(億円)

	FY17				FY18							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	前期比		前年同期比		
								増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	494	562	568	854	706	762	627	▲134	▲17.6%	+60	+10.5%	
売上高	407	477	509	679	709	727	749	+23	+3.1%	+240	+47.3%	
売上総利益	206	249	232	379	382	389	425	+36	+9.3%	+192	+82.6%	
売上総利益率	50.6%	52.1%	45.8%	55.7%	53.9%	53.6%	56.8%	+3.2pts		+11.0pts		
営業利益	22	52	32	139	158	180	207	+28	+15.4%	+175	+6.4倍	
営業利益率	5.5%	10.9%	6.4%	20.4%	22.3%	24.7%	27.6%	+2.9pts		+21.2pts		
税引前四半期利益	16	48	34	145	165	186	206	+21	+11.1%	+172	+6.1倍	
四半期利益	10	39	26	106	139	162	179	+16	+10.1%	+154	+7.0倍	
四半期利益率	2.4%	8.2%	5.0%	15.6%	19.6%	22.4%	23.9%	+1.5pts		+18.9pts		
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整					▲30							
受注残	509	594	653	828	795	830	708	▲122	▲14.7%	+55	+8.4%	
為替レート	1米ドル	112円	111円	112円	111円	108円	111円	113円	2円 円安		1円 円安	
	1ユーロ	121円	128円	132円	134円	131円	129円	130円	1円 円安		2円 円高	

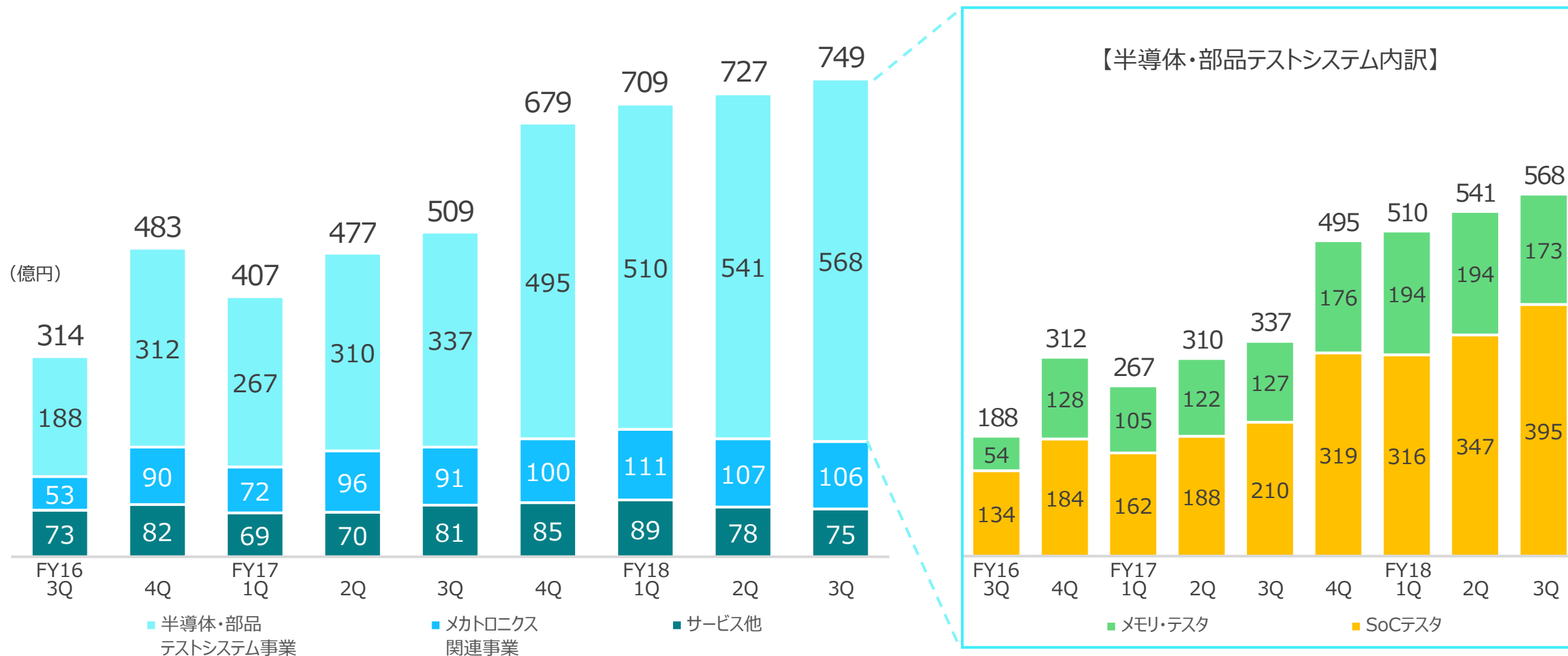
四半期受注高 事業セグメント別



*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます



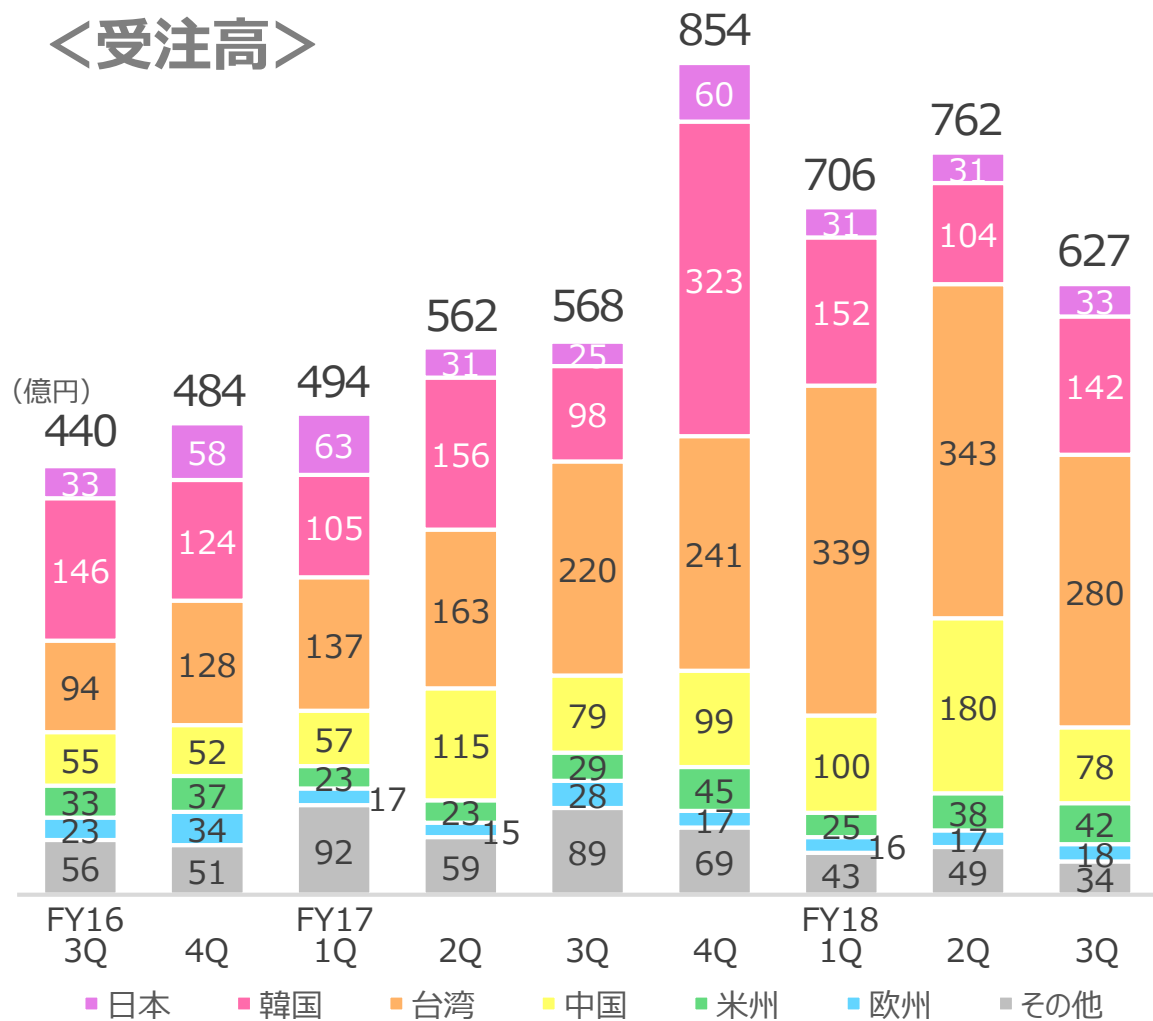
四半期売上高 事業セグメント別



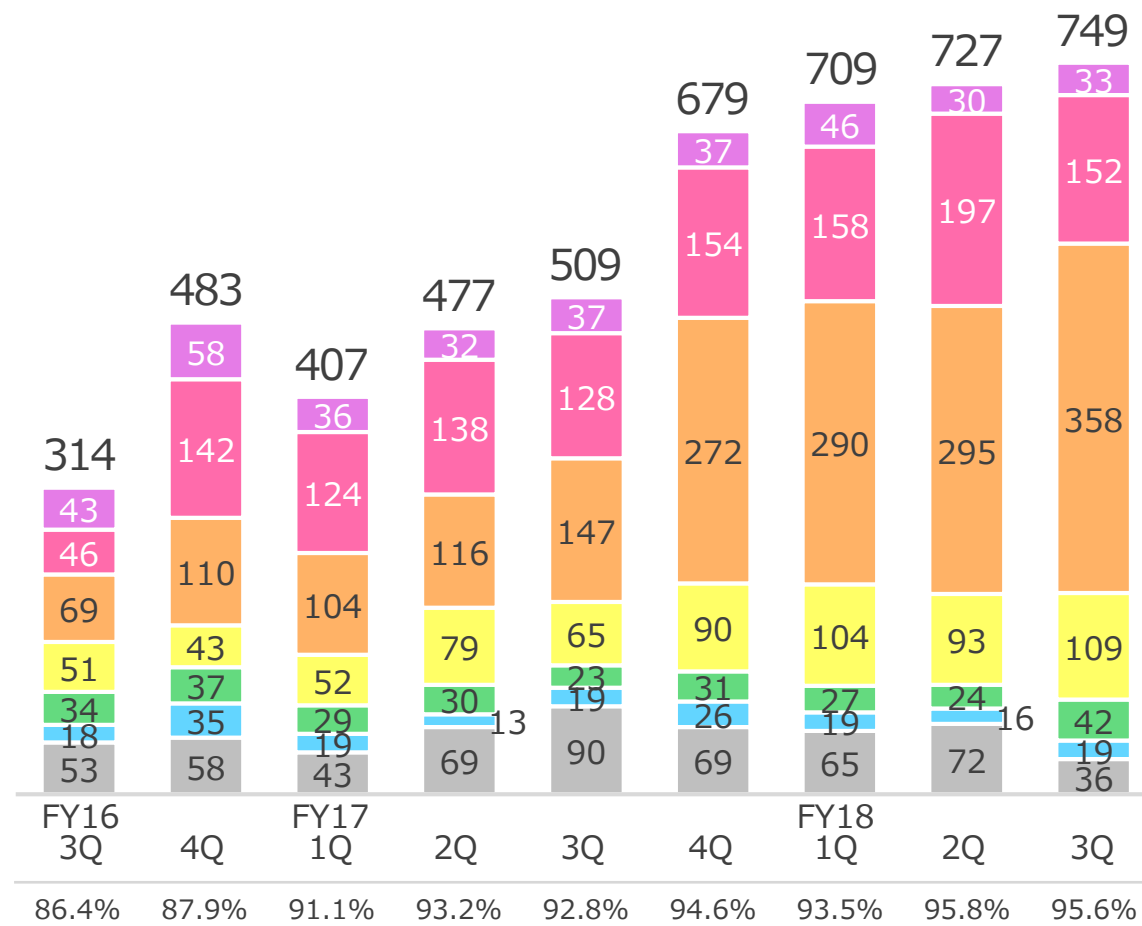
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別

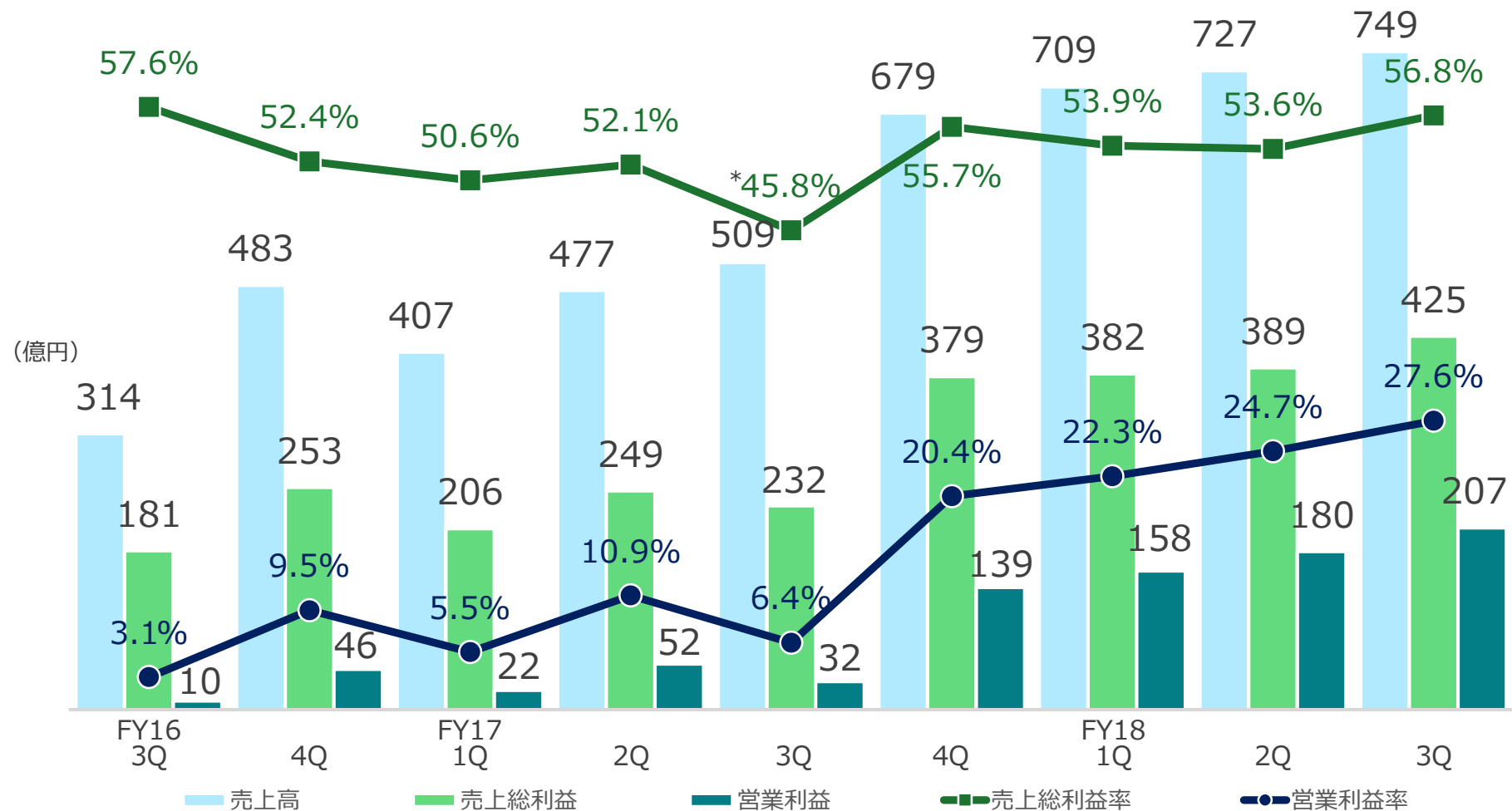
<受注高>



<売上高>



売上高/売上総利益/営業利益

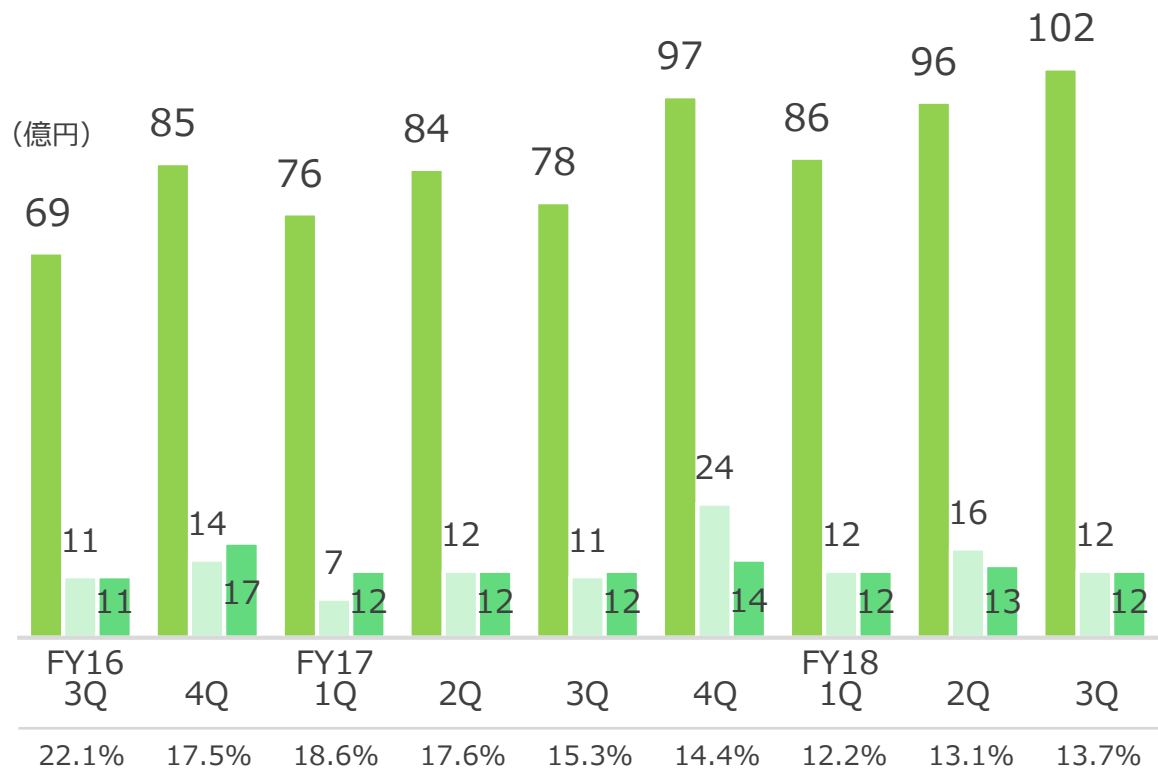


*FY17 3Qにナノテクノロジー事業の棚卸資産評価損(33億円)を計上しています。
この評価損影響を除いたFY17 3Qの売上総利益率は、52.3%となります。

投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費

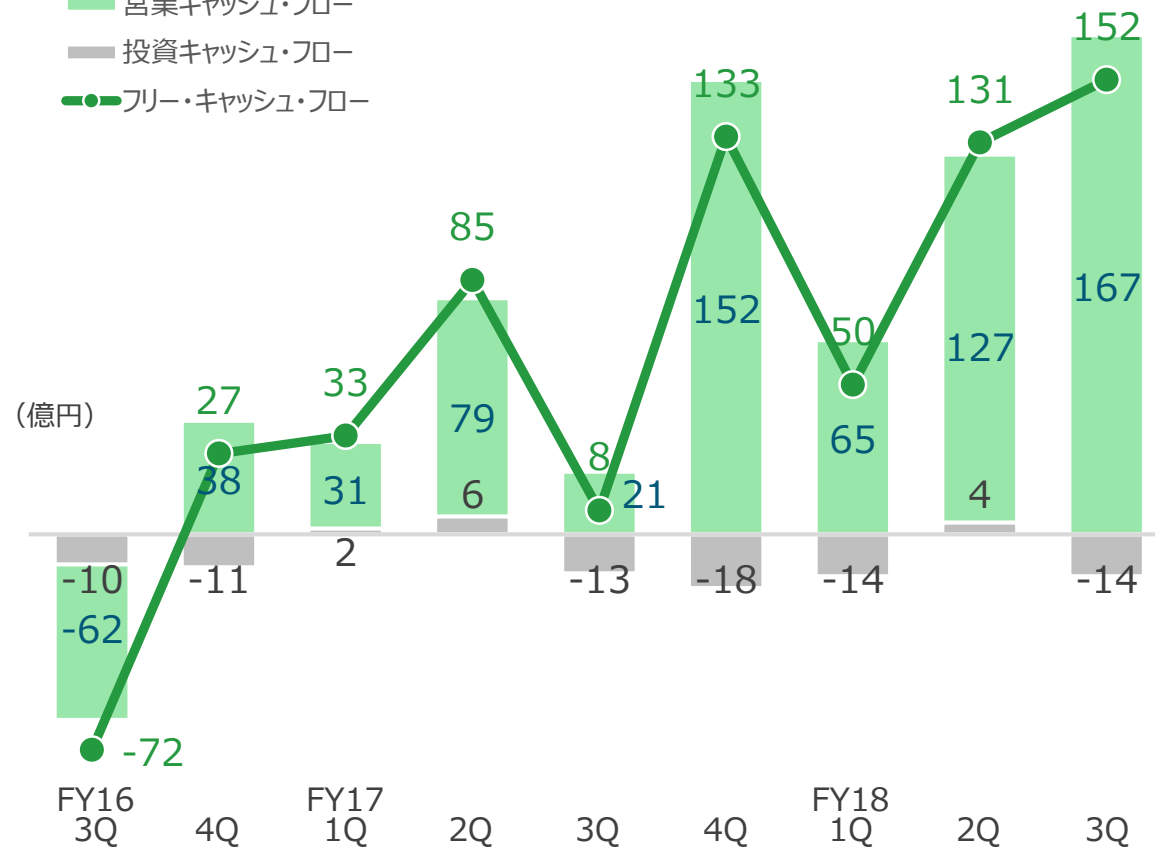


研究開発費売上高比率

22.1% 17.5% 18.6% 17.6% 15.3% 14.4% 12.2% 13.1% 13.7%

<キャッシュ・フロー>

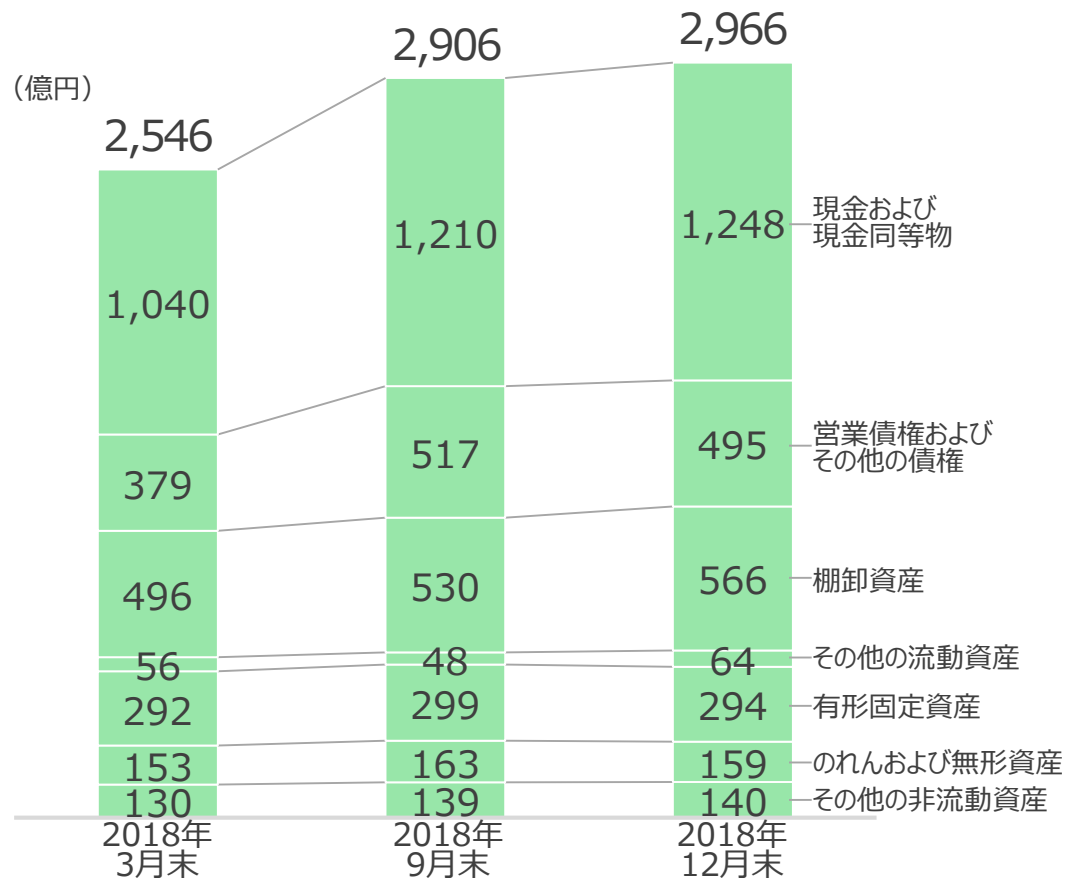
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



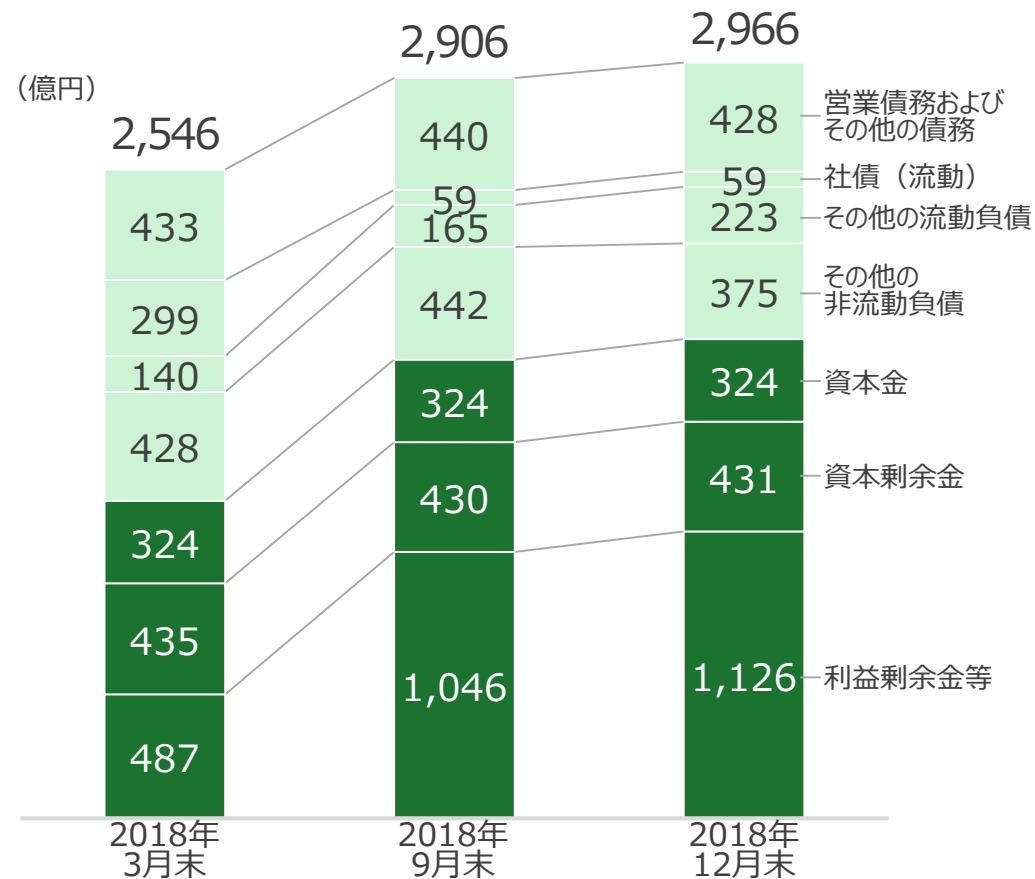
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	1,246	1,800	1,881
親会社所有者 帰属持分比率	49.0%	61.9%	63.4%

2018年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

FY18業績予想修正

(億円)

	FY17 実績	FY18 新予想	FY18 前年度比		(参考) 新旧予想比較	
			増減額	増減率	10月時点 FY18予想	修正額
受注高	2,478	2,650	+172	+7.0%	2,550	+100
売上高	2,072	2,780	+708	+34.2%	2,650	+130
営業利益	245	630	+385	+2.6倍	530	+100
営業利益率	11.8%	22.7%	+10.9pts		20.0%	+2.7pts
税引前利益	243	640	+397	+2.6倍	545	+95
当期利益	181	545	+364	+3.0倍	460	+85
当期利益率	8.7%	19.6%	+10.9pts		17.4%	+2.2pts
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整		▲30			▲30	
受注残	828	668	▲160	▲19.3%	698	▲30
為替レート*	1米ドル	111円	110円	1円 円高	110円	-
	1ユーロ	129円	130円	1円 円安	132円	2円 円高
1株当たり配当額 (年間)	32円	88円	56円	増配	75円	+13円

*FY18 4Qの前提レートは1米ドル: 110円、1ユーロ: 130円です。

為替レート変動が当社の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルで1円安時、年間でプラス5億円です。対ユーロはマイナス1億円です。

CY19市場予想 <19年1月時点の見方>

- 各種半導体の性能・信頼性高度化を背景に、CY18のテスト市場は順調に推移
- 世界経済の先行き不透明感が増す中、顧客各社は在庫調整を優先。当面の間テスト市場も減速
- 在庫調整が一巡し顧客マインドが改善される、CY19後半の市場回復を想定

	CY18推定	CY19推定	変化率
SoCテスト市場	約\$2.4B	約\$2.0B	前年比 約15%減
メモリ・テスト市場	約\$1.0B	約\$700~800M	前年比 約20~30%減

今後の重点施策

継続した顧客へのコミットメント

- SoC、メモリとも、より高性能なハイエンド・デバイスの開発・評価が有力顧客で進展
- 新たなテスト技術やソリューションの提供を通じ、より高度な性能保証・信頼性保証に向けて顧客と開発段階から協業
- 19年後半以降、より高性能でより信頼性を求める新デバイスが順次量産開始、テスト市場の成長を牽引
- 顧客との協業を深め、次のテスト需要の立ち上がりを確実に捕捉

中長期の事業成長に向けて

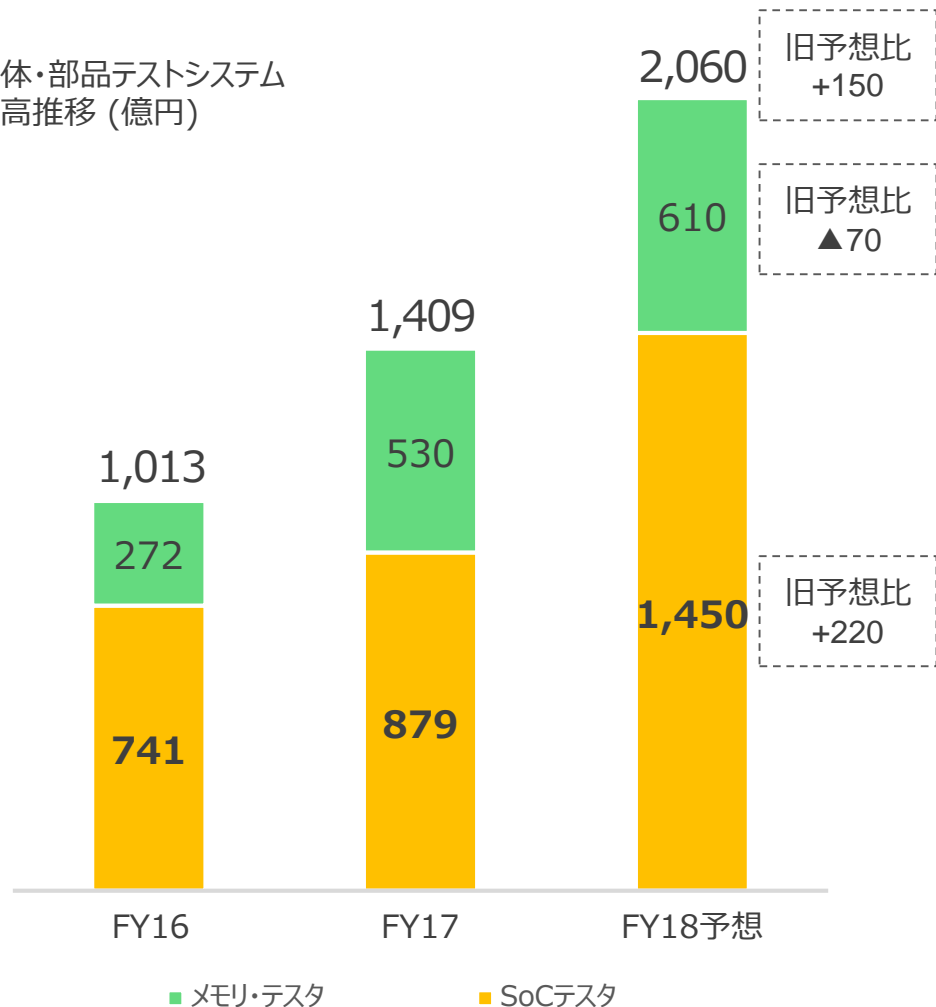
- AI、5G通信、ADAS等の有望テーマでの競争力を強化
- 中長期の企業価値創造の源となる、「技術」と「人財」を強化
- 18年11月に発表した米国Astronics社のシステムレベル・テスト事業買収案件については、早期完了を目指し、両社でクロージング手続きを進めています

FY18 開発投資・設備投資の見通し

	FY17実績	FY18予定
研究開発費	335億円	380億円
設備投資	54億円	70億円
減価償却費	50億円	55億円

FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム
売上高推移（億円）



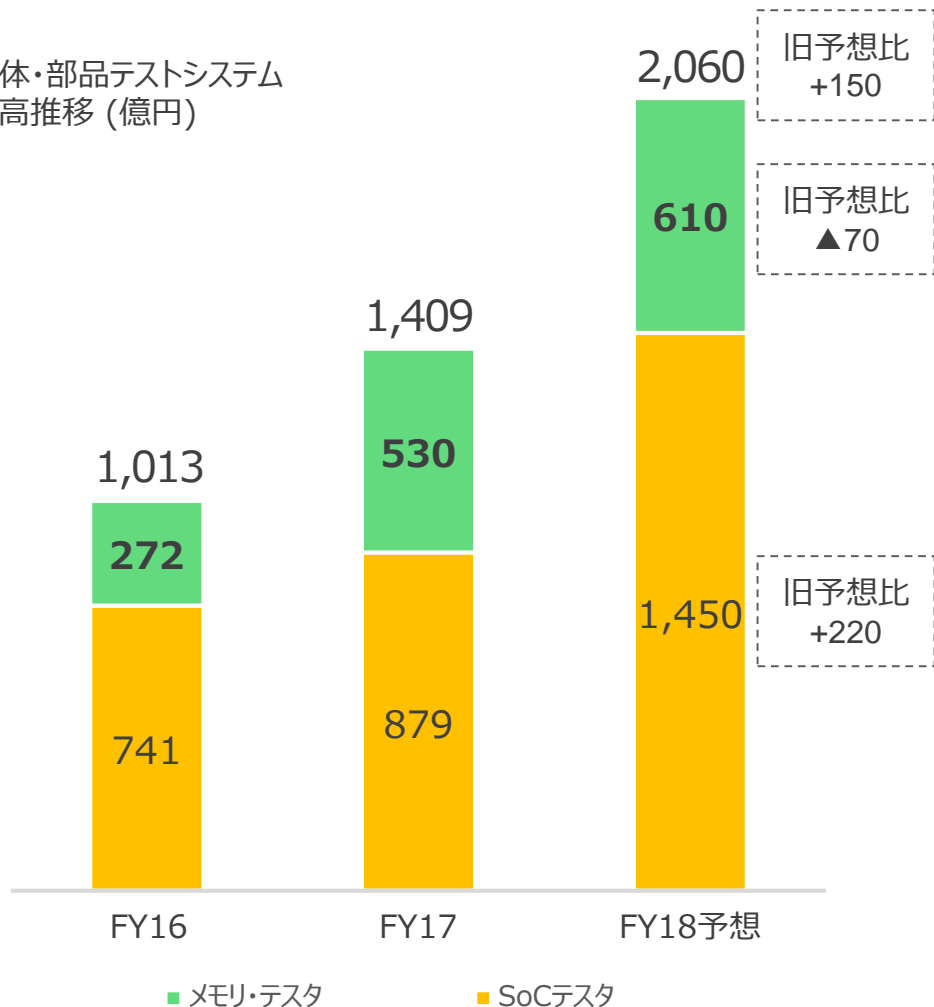
半導体・部品テストシステム

<SoCテスト>

- 端末高性能化を背景に、スマートフォン用プロセッサやセンサのテスト能力拡大の動きが継続
- TDDI化、CoF化、パネル高精細化など、技術進化著しいディスプレイ向けは堅調な需要が持続
- 最終製品需要が鈍化する中、当社の幅広い顧客ベースがSoCテストの受注水準を下支え。通期売上予想を上方修正

FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム
売上高推移（億円）



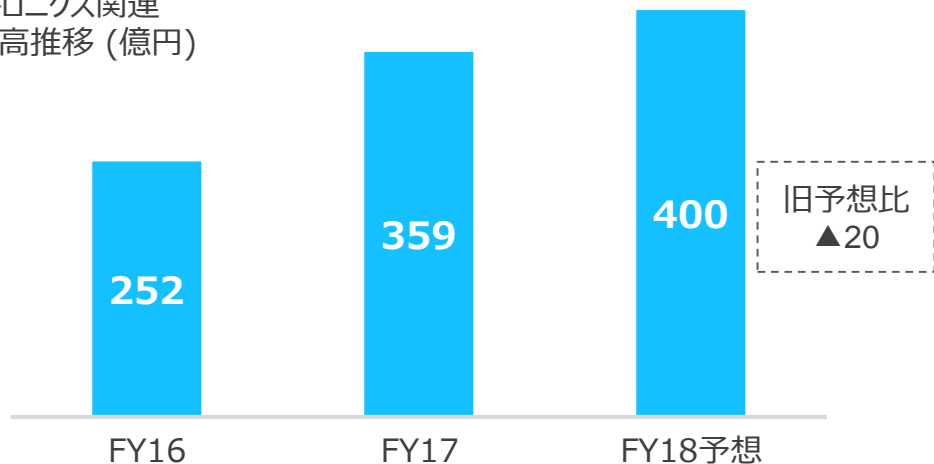
半導体・部品テストシステム

<メモリ・テスト>

- データセンター向けメモリ需要の軟化等を背景に、顧客各社のテスト投資計画に相次ぎ見直し
- 当社メモリ・テストの18年度見通しも引き下げる
- 足元はテスト投資に抑制傾向が見られるが、DRAM・不揮発性メモリ双方でメモリ容量拡大トレンドが持続。それに呼応し、テスト能力増強投資が今後も維持される見通し

FY18見通し（事業別）

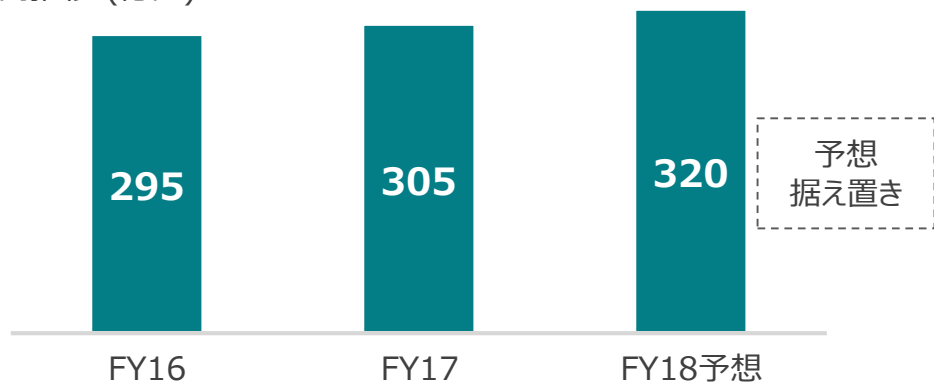
メカトロニクス関連
売上高推移（億円）



メカトロニクス関連

- 上期はメモリ・テスト用のデバイス・インタフェース、テスト・ハンドラの需要が好調
- 下期はメモリ顧客の需要減少にあわせ、10月時点の予想を見直し

サービス他
売上高推移（億円）



サービス他

- 顧客内のテスト稼働は堅調、フィールド・サービス売上も底堅く推移

サマリー

- CY18は素晴らしい年に
- 18年度業績は過去最高の受注高・売上高・当期利益へ
- テスタ市場の構造変化とグローバル・オペレーションの強化が業績押上げ
- CY19のテスタ市場は一旦踊り場を迎えるが、シクリカルグロースの通過点。臆することなく持続的な成長のための施策を展開